

提案者

広島県福山市

活用技術

AI・IoT、自動運転、キャッシュレス、ロボット

背景・課題

目指す
将来像

- 産学官が連携して先端技術を活用した地域課題解決のための協議をする場である「官民協議会」と、企業などの独自の技術やアイデアを活用して社会課題等の実証実験を市が支援する「まるとサポート事業」という2つの事業を両輪とし、新たな価値の創造による好循環を生み出し、未来をリードする都市を実現する

解決すべき
課題

- 中山間地域の過疎化や高齢化、車への依存度の高さがもたらす慢性的な国道の渋滞や公共交通の縮小、駅前の空洞化や観光消費額の少なさ、老朽化した公共施設、平成30年7月豪雨をはじめとする自然災害への対応など、課題が山積している

実装を目指す主な事業内容

○事業：高齢化地域でのオンデマンドモビリティの実装

活用技術

事業概要

AI・IoT
自動運転

- 服部地区（山間部）及び緑陽地区（オールドニュータウン）でオンデマンドモビリティの実証実験を実施し、予約アプリ、オンデマンドモビリティの本格実装を行う
- 自動運転バス（レベル4相当）の実現を目指す



オンデマンドモビリティ



自動運転バス

○事業：市内イベント会場などでのキャッシュレス決済試行

活用技術

事業概要

キャッシュ
レス

- 祭り会場でのQRコードによるキャッシュレス決済試行などを支援するほか、公共施設の料金支払いをキャッシュレス決済とする実証実験を行う



QRコード決済



人流解析・情報のレコメンド発信

○事業：JR福山駅周辺での人流解析、情報のレコメンド発信

活用技術

事業概要

AI・IoT

- AIカメラなどを活用して、駅周辺の歩行者やバスなどの利用状況を分析し、歩行者に応じた情報をレコメンド発信できるシステムやコンテンツを作成する
- 音楽や光、香りなど、五感に訴える情報発信を行う